

ソフト系IT業界の実態調査 報告書(第12回)

令和2年 9月

一般社団法人 島根県情報産業協会
しまねソフト産業ビジネス研究会

はじめに

平素は情報産業の発展に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

島根県では平成 19 年度からソフト系 IT 産業の支援を強化されてきており、今年度におきましても厳しい財政状況の中、情報産業の振興を推進していただいております。お陰様で県内情報産業の人材育成や県外ビジネスの推進、Ruby 開発推進などにおいて数々の成果が上がってきております。

その効果の検証をも兼ねて、今年も県内のソフト系 IT 関連従事者数などの実態調査を実施いたしました。島根県情報産業協会・しまねソフト産業ビジネス研究会の会員を含む県内ソフト系 IT 企業 83 社にアンケート調査を依頼し、このうち 81 社(ソフト系 IT 企業 79 社)から回答を得ましたのでご報告申し上げます。

令和2年度 調査結果(概要)

- ・ソフト系 IT 企業従事者数(県内分) **1,608** 名 (前年 1,525 名: 105.4%、前々年 1,443 名)
- ・売上額(ソフト系 IT 企業) **28,908** 百万円 (前年 24,739 百万円: 116.9%、前々年 23,346 百万円)
- ・経常利益(ソフト系 IT 企業) **1,657** 百万円 (前年 1,393 百万円: 119.0%、前々年 1,320 百万円)
- ・Ruby エンジニア(全回答社) **426** 名 (前年 448 名: 95.1%、前々年 394 名)
- ・Ruby 開発売上(全回答社) **1,533** 百万円 (前年 1,651 百万円: 92.9%、前々年 1,630 百万円)

令和 2 年度調査では売上額が 16.9%増加の 289 億円と大幅に増加しました。経常利益は、19%増加し、16 億円となりました。売上・経常利益ともに調査開始以来の最高額を更新しました。

今年度調査から、県外本社企業については、区分経理又は按分の方法により、売上、経常利益ともに記載するよう求めており、この結果 9 社で回答が新たにありました。売り上げで 29 億円、経常利益で 94 百万円あり、この影響を除くと、売り上げでは 5.2%、経常利益は 12.2%となります。新型コロナウイルス流行による影響は、約半数の企業が 3 月決算であること、またシステムの保守管理業務の割合が大きいところからさほどの影響はみられませんでした。

県内 IT 従事者数は 83 名増加の 1,608 名となりました。調査開始以来の最高値を引き続き更新となりました。県内本社企業での増加 73 名が特徴となっています。

H27 年度調査から行っている IT エンジニアの不足状況については、その数は、システムエンジニア 125 名、プログラマー 117 名となります。不足を訴える企業は、県内企業 33 社、県外企業 20 社であり、回答企業に占めるその割合は、県内本社では 66.0%、県外本社では 69.0%です。これまでと比較して、人材不足感は緩和傾向となりましたが、なお 6 割を超える企業が不足を訴えております。

県内ソフト系 IT 企業が今後の更なる安定成長を図り、有能な県内若年労働者の雇用の場を確保する為にも、引き続き「IT 産業振興策」の継続が必要と考えております。成長性の高い情報産業が県内の主要産業として一翼を担うべく、協会挙げて推進してまいりますので、引き続きご支援の程よろしくお願い申し上げます。

令和 2 年 9 月

一般社団法人 島根県情報産業協会
会長 吉岡 宏

令和2年度ソフト系 IT 業界の実態調査報告書

目次

はじめに

1. 調査の概要	1
1-1 調査目的	
1-2 調査内容	
(1)調査対象と調査方法	
(2)調査項目	
(2)-1 IT 従事者数	
(2)-2 売上高	
(2)-3 人材不足の状況	
(2)-4 Ruby 関連調査	
1-3 回収状況	
2. 調査結果	
2-1 回答企業の属性	2
(1)本社所在地及び県外事業所展開構成	
(2)IT 従事者数別構成	
(3)売上高別構成	
2-2 業績分析	
(1)IT 従事者数推移.....	3
a)従事者数推移	
b)個別企業県内従事者数の増減	
c)不足している IT 従事者数	
(2)売上高推移.....	5
a)売上推移	
b)経常利益推移	
c)売上の動向	
(3)Ruby 関連.....	7
a)Ruby エンジニア数推移	
b)Ruby アソシエーション認定技術者数推移	
c)システム開発件数	
d)Ruby 開発売上額	
(4)情報処理技術者数.....	9
(5)IT 関連施策への提言や協会活動、資格取得に関する要望、その他...	10
3. 調査結果集計表	12
4. 回答企業一覧と参加団体	14

1. 調査の概要

1-1 調査目的

島根県からソフト系 IT 産業に特別の支援を頂いており、その直接的あるいは間接的な効果を測定し、今後の更なるソフト系 IT 産業支援に役立てて頂くと共に、我々自身の経営方針・経営戦略に役立てる。

1-2 調査内容

調査対象と調査方法

(一社)島根県情報産業協会及びしまねソフト産業ビジネス研究会の全会員、その他県内 IT 企業の一部、県内ソフト系 IT 企業 83 社を対象とした。

対象企業に調査票を送付し、対象企業内で記入の後、メールにより回収した。今年度は、7月を報告締切りとし1回で調査実施した。

なお、本調査報告でソフト系 IT 企業とは、産業分類上の情報サービス業及びインターネット付随サービス業と定義する。以下、調査報告の対象は特に言及する部分を除きソフト系 IT 企業の数値を掲げる。

(1) 調査項目

(1)-1 IT従事者数(正社員、非正規雇用者、派遣従事者別)

- a) 島根県内企業の県内 IT 従事者数及び県外事業所 IT 従事者数
- b) 島根県外本社企業の島根県内事業所における IT 従事者数

(1)-2 売上高等

- a) 島根県内企業の売上高及び経常利益
- b) 島根県外本社企業の島根県内事業所における売上高及び経常利益

(1)-3 不足している人材

- a) 調査時点で不足を感じているシステムエンジニア・プログラマーの数

(1)-4 Ruby 関連調査

- 1 Ruby エンジニア数
- 2 Ruby アソシエーション認定技術者数
- 3 Ruby システム開発件数・売上額

(1)-5 情報処理技術者数(国家試験)

(1)-6 資格取得に関するその他・要望

(1)-7 IT 関連施策への提言や協会活動、資格取得に関する要望、その他

(2) 期間

(2)-1 対象期間

- a) 売上等の決算関係数値は、調査時点での直近の決算数値
- b) IT 従事者数については4月1日現在の数値

(2)-2 調査期間 令和2年4月～令和2年8月

1-3 回収状況 回収件数 81社(新規回答社4社、回収率97.5%)

2. 調査結果

2-1 回答企業の属性

(1) 本社所在地及び県外事業所展開構成

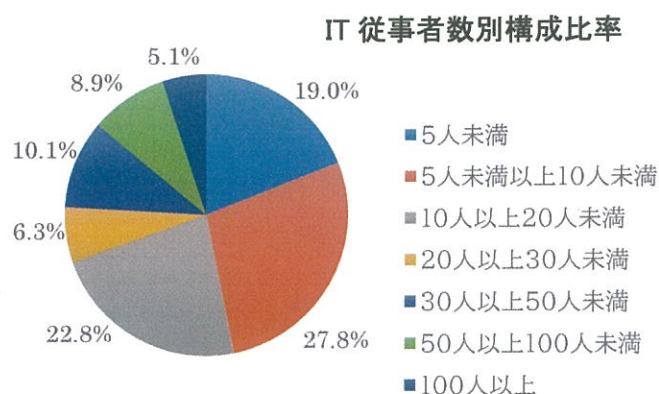
本調査のソフト系 IT 企業の有効回答 79 社のうち、令和 2 年度調査の県内本社企業は 50 社。そのうち県外への事業所展開企業は、25 社。

年 度	県内企業数(県外展開企業数)	進出企業数(従事者数)	合計
H30 年度調査	46 社(25 社)	28 社(210 名)	74 社
R1 年度調査	48 社(25 社)	28 社(231 名)	76 社
R2 年度調査	50 社(25 社)	29 社(241 名)	79 社

(2) IT 従事者数別構成

10 人未満の企業数が 46.8%を占める。従業員 30 名以上の企業は 19 社で、これらの企業の従事者数は IT 従事者総数の 77.6%を占める。

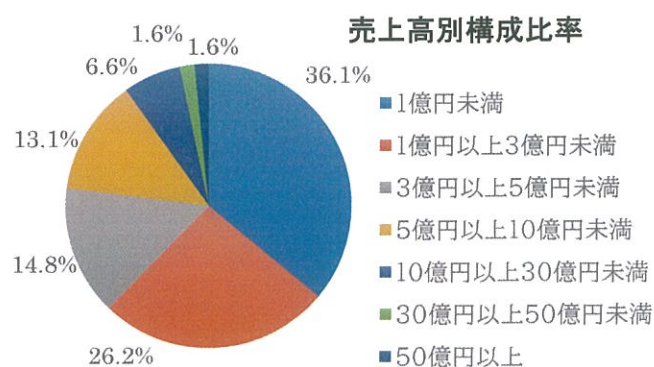
カテゴリー	社数(社)	構成比 (%)
5 人未満	15	19.0%
5 人～9 人	22	27.8%
10 人～19 人	18	22.8%
20 人～29 人	5	6.3%
30 人～49 人	8	10.1%
50 人～99 人	7	8.9%
100 人以上	4	5.1%
合計	79 社	100%



(3) 売上高別構成

有効回答 61 社の売上高別構成は、1 億円未満がもっとも多く 22 社で 36.1%を占める。10 億円以上の会社は 6 社(61 社の 9.8%)。その売上が 56.3%を占める。

カテゴリー	社数(社)	構成比 (%)
1 億円未満	22	36.1
1億～3億円未満	16	26.2
3億～5億円未満	9	14.8
5億～10億円未満	8	13.1
10億～30億円未満	4	6.6
30億～50億円未満	1	1.6
50億以上	1	1.6
合計	61 社	100%



2-2 業績分析

(1)IT 従事者数推移

a)IT 従事者数推移

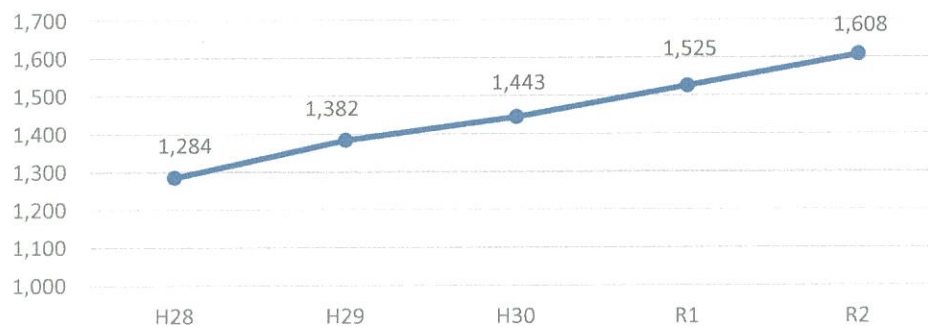
- ・令和2年度調査(令和2年4月1日現在)従事者数は、県内で従事する者が83名増加した。
- ・県内本社企業で73名増加し、県内本社企業で県内従事者が10名増加している。
- ・県内本社企業の県外従事者数は、60名増加の759名となった。

	H30年度調査		R1年度調査		R2年度調査	
	県内従事	県外従事	県内従事	県外従事	県内従事	県外従事
小計	1,443	685	1,525	699	1,608	759
合計	2,128名		2,224名		2,367名	

※県内:県内に本社を置く企業の県内従事者と進出企業の県内従事勤務者の合計

※県外:県内に本社を置く企業の県外事業所に勤務する従事者の総数

県内IT従事者数推移 年度は調査年度

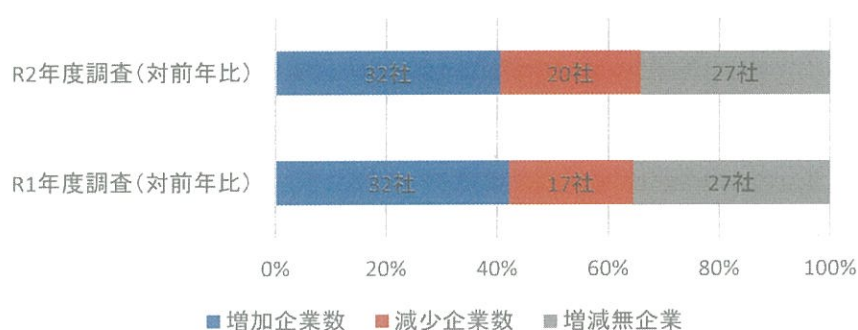


b)個別企業県内従事者数の増減

- ・令和2年度調査県内従事者数が、前年に対し増加した企業数は、32社。減少企業数は20社。有効回答社構成比で見ると増加した企業は1.6ポイント減の40.5%。一方減少した企業は2.9ポイント増の25.3%である。
- ・ソフト系IT企業79社の1社あたり県内IT従事者数の中央値は9.0人である

	増加企業数	減少企業数	増減無企業数	合計
R1年度調査従事者数(前年比較)	32社	17社	27社	76社
R2年度調査従事者数(前年比較)	32社	20社	27社	79社

個別企業従事者数の増減

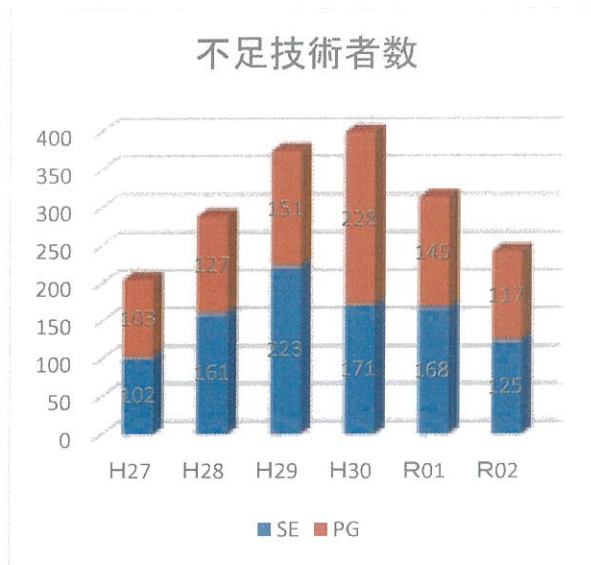
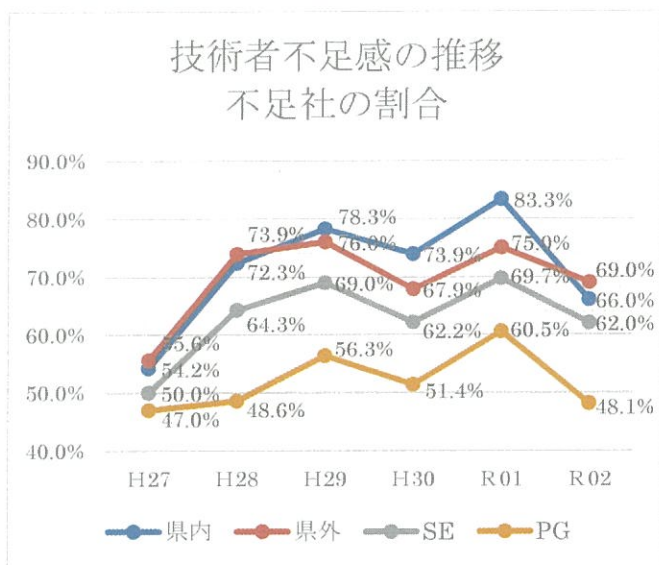


c)不足している IT 従事者数

・IT技術者（システムエンジニア・プログラマー）が不足していると感じているIT企業は県内本社で66%、県外本社で69%、不足する技術者数はシステムエンジニアで125名、プログラマーで117名となった。昨年に引き続き、不足数は減少しており、不足感は緩和傾向にある。

区分		SE①	P②	①or②	有効回答	割合	
全社	社数	50	39	55	81	67.9%	
	不足数	129	119	248	2,488	10.0%	
IT企業	社数	49	38	53	79	67.1%	
	不足数	125	117	242	2,367	10.2%	
本社別	県内	社数	32	26	33	50	66.0%
		不足数	65	63	128	2,126	6.0%
	県外	社数	17	12	20	29	69.0%
		不足数	60	54	114	241	47.3%

SEはシステムエンジニア、Pはプログラマーを示す

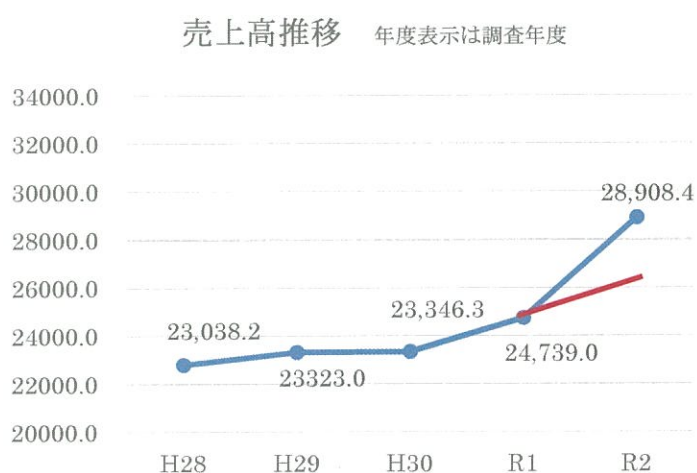


(2)売上高推移

a)売上推移

- ・令和2年度調査ソフト系IT企業の売上額合計は28,908百万円で、前年比16.9%の増加となった。
- ・増加分のなかには、県外本社企業売上計上方法について、按分等によることを呼びかけた結果、新たに売り上げ計上してきた企業が9社2,874百万円ある。この影響を除外すると5.2%増の26,034百万円となる。

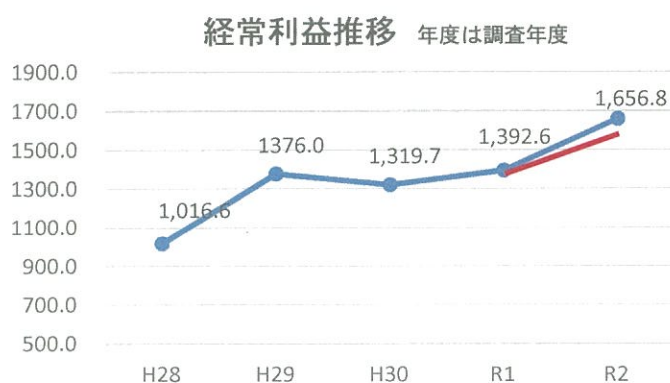
H30年度調査	23,346百万円(回答企業49社)	
R1年度調査	24,739百万円(回答企業51社)	(対前年比106.0%)
R2年度調査	28,908百万円(回答企業61社)	(対前年比116.9%)



b)経常利益推移

- ・令和2年度調査ソフト系IT企業の経常利益額は1,657百万円で、前年度比19%増。
 - ・按分等の方法により今回調査から新たに報告された県外本社企業の経常利益が9社94百万円ある。
- この影響を除外すると12.2%増加の1,563百万円となる。

H30年度調査	1,320百万円(回答企業40社)	
R1年度調査	1,393百万円(回答企業43社)	(対前年比105.5%)
R2年度調査	1,657百万円(回答企業54社)	(対前年比119.0%)

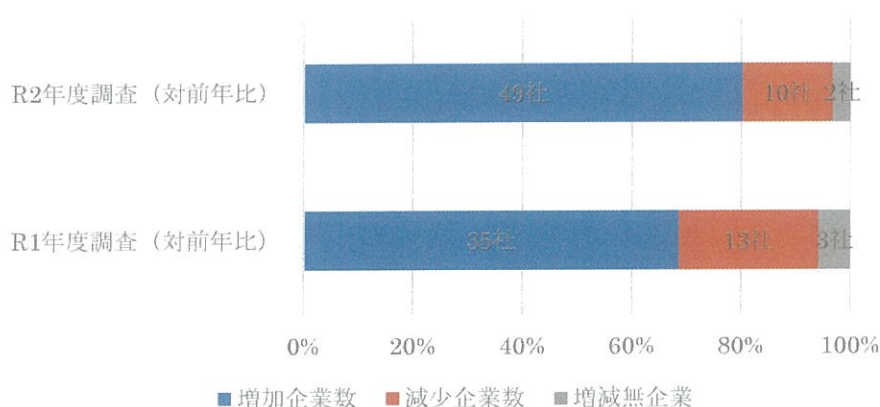


c) 売上の動向

- ・令和2年度調査売上で、前年に対し増加している企業数は、49社。
- ・令和2年度調査売上で、前年に対し減少している企業数は、10社。
- ・昨年と比較し、増加している企業の割合が11.7ポイント増の80.3%、減少した企業割合は▲9.1ポイントの16.4%となっている。
- ・IT従事者1人当たりの売上高の中央値は10.1百万円。
- ・県内のみで活動している法人(県内法人)と県外でも活動している県内本社法人(県外活動県内法人)では、県内法人の売上が9.8%増である一方、県外活動県内法人の売上は1.5%増加となった。

	増加企業数	減少企業数	増減無企業数	合計
R1年度調査売上高(対前年比)	35社	13社	3社	51社
R2年度調査売上高(対前年比)	49社	10社	2社	61社

個別企業売上の増減



(3) Ruby 関連

a) Ruby エンジニア数推移(回答社全社)

- 令和2年度調査県内 Ruby エンジニア数は、426名で前年比4.9%減少となった。

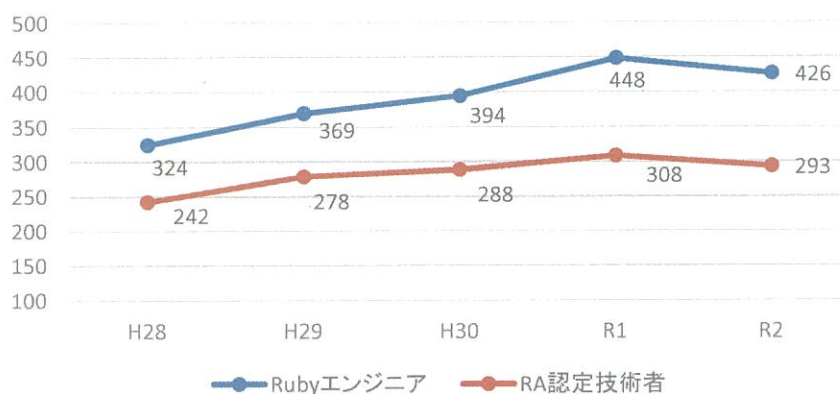
	合計(社)
H30年度調査	394名(49社)
R1年度調査	448名(51社)
R2年度調査	426名(61社)

b) Ruby アソシエーション認定技術者数推移(回答社全社)

- 令和2年度調査 Ruby アソシエーション認定技術者合計数は、前年度比4.8%減少。
- Ruby Silver については、前年比5.6%減少した。
- Ruby Gold については、前年比2.7%減少した。

	Ruby Silver	Ruby Gold	計
H30年度調査	213名	75名	288名
R1年度調査	234名	74名	308名
R2年度調査	221名	72名	293名

Rubyエンジニア・RA認定技術者数

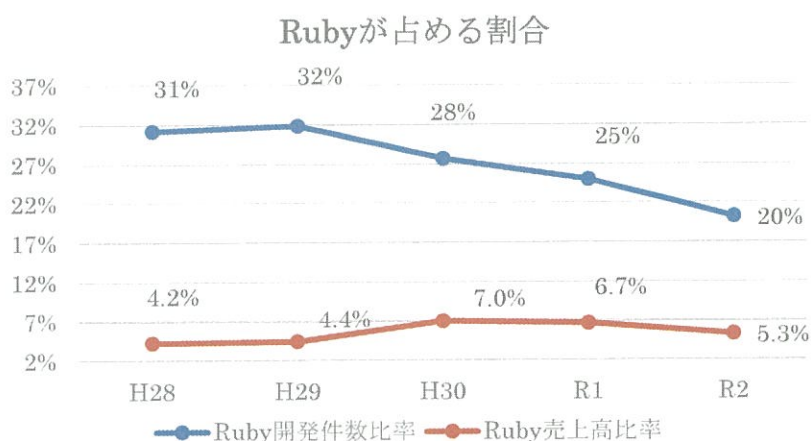


c) システム開発件数(ソフト系 IT 企業)

- 令和 2 年度調査 1 件 50 万円以上のシステム開発件数は 15.3%増加した。
Ruby 開発件数は 6.7%減少した。
- システム開発における Ruby の件数割合は 2 割程度にとどまる。

年 度	システム開発件数(県外)	Ruby 開発件数(県外)	Ruby 開発比率
H30 年度調査	1,537 件(122 件)	425 件(25 件)	27.7%
R1 年度調査	1,301 件(129 件)	325 件(31 件)	24.9%
R2 年度調査	1,501 件(189 件)	303 件(37 件)	20.1%

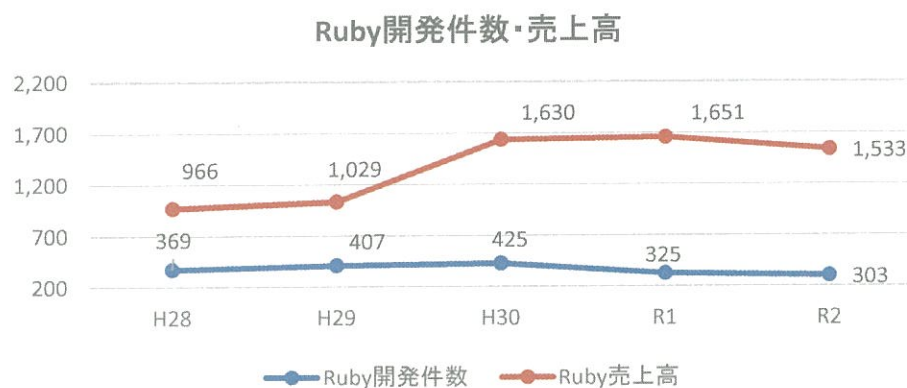
※県外: 県外に本社を置く企業の開発件数



d) Ruby 開発売上額(ソフト系 IT 企業)

- 令和 2 年度調査 Ruby 開発売上額は、前年比 7.1%の減少であった。Ruby を用いたシステム開発の売上は全体の売上の 5.3%である。
- Ruby エンジニアの 1 人あたりの受注金額 (中央値) は 2.4 百万円である。

年 度	ソフト系 IT 企業全売上	ソフト系 IT 企業 Ruby 売上 (県外)	Ruby 売上比率
H30 年度調査	23,346 百万円	1,630 百万円(383 百万円)	7.0%
R1 年度調査	24,739 百万円	1,650 百万円(461 百万円)	6.7%
R2 年度調査	28,908 百万円	1,533 百万円(385 百万円)	5.3%



(4) 情報処理技術者数(全回答社)

・情報処理関連国家資格取得に対する各社の熱意は大きいものがあり、近年特に情報セキュリティに関する資格取得の増加傾向が注目される。

	H30年4月1日時点		H31年4月1日時点		R2年4月1日時点	
	社数合計	技術者数合計	社数合計	技術者数合計	社数合計	技術者数合計
ITパスポート (初級シスアド)	38	228	45	282	46	309
基本情報(二種)	49	682	58	732	63	752
応用情報 (一種・ソフトウェア開発)	39	300	46	325	48	310
データベース	20	53	19	56	19	54
ネットワーク	18	59	20	68	25	76
エンベテッド	4	6	4	5	5	7
情報セキュリティ	21	115	25	123	27	127
ITサービスマネージャ (システム管理)	5	23	6	26	7	26
システムアーキテクト (特種・アプリケーション)	8	36	10	40	11	38
プロジェクトマネージャ	7	34	8	38	8	37
ITストラジスト (アナリスト・上級シスアド)	3	12	5	14	7	14
システム監査	4	7	4	7	4	6

(5) IT 関連施策への提言や協会活動、資格取得に関する要望、その他等

A社(県内)

- ・IT 人材育成の経費助成(→行政)
- ・IT 技術者や IT 営業員等の人材確保支援(→行政)
- ・継続的な IT 人材育成事業の推進(→協会)

B社(県内)

現状 Ruby で自社開発したシステムのクラウドサービス及び保守サービスを主体とした事業展開で、外部からの受託開発等はありません。

AFTER コロナ、WITH コロナで官民ともに益々 IT 化セキュリティ強化が進展してゆくものとみられます。

そうしたなかで、弊社としても新しいビジネスとしての取り組みもしてゆきたいと思いますが、現状、具体的な企画やアイデアがありません。

AFTER コロナ、WITH コロナに向けた県や市町村、民間企業に対するビジネスアイデアの勉強会や情報提供の場があれば積極的に参加してゆきたいと思います。

C社(県内)

県内の普通高校の生徒さんに県内 IT 企業を知っていただく機会があれば良いなと思います。

D社(県内)

県や市による、県外資本の IT 企業誘致に対する過度な優遇制度はやめて、地元企業と対等にして欲しい。

(家賃や航空代の補助、新規雇用者に対する補助は地元企業には無い)

島根大学、島根県立大学、松江高専の学生と地元企業(情産協)が、協力・連携しながら、スタートアップ企業の育成、地元企業の新規事業展開等に取り組めるような政策を望む。

E社(県内)

・県外ビジネスや県外商談受注のためのビジネスマッチングなど機会や場を積極的に作っていただくと、地場の零細的企業もより仕事量の増加や活気が出るのではないかと。

・上記とも関連するが、「しまねプロジェクト」として、より島根の IT 企業が持つ独自の商品やサービス、技術力や生産力を対外的にアピールする場(サイトなど)を作ってはどうか。

(受注やビジネスマッチング目的。県・自治体、あるいは情産協独自で)

F社(県内)

県内の IT 技術者が集まって、他業種連携もしながらものづくりができるように 100% 公的な資金で行うプロジェクトを実施してもらいたいです。

G社(県外)

何時も情報提供して頂きありがとうございます。

資格取得のための学習講座(リーズナブル)が増えると良いと思っています。

H社(県外)

新しい時代を彩るサービスの検討、構築をリスタートアップで少ない投資で協業にて実施できる枠組みがあれば嬉しいです。

うまく進みそうであれば投資を増やすのは勿論 OK です。

I社(県外)

平素より各種人材育成講座や松江高専での説明会等大変お世話になっております。

貴協会が関与されているか不明ですが、CBT 形式の資格試験が受験できる会場を増やしていただきたいです。

J社(県内)

地元民の雇用拡大や UI ターンの定住に限らず、リモートワークを推進している企業や個人を呼び込み、半年や1年など一時的にでも人を増やし(住民票を移して)島根に住んでもらうことで、税金や消費など経済に回すような施策を考えても良いのではないだろうか。それが、定住や人口を増やすことに繋がる可能性もある。

既にそのような施策を実施している場合、(アピール不足も考えられるため)全国に向けた情報発信の方法を再度検討する必要があると考えられる。

K社(県外)

高度 IT 人材と呼ばれる分野の活躍の幅を広げる活動

勉強するだけでなく業務として継続的に関与できる発注や環境づくり

SE による営業活動、SE によるシステム見積、などの営業に関わる活動がありますと、地元メンバーたちが主体的に動きやすくなると思っております。

L社(県内)

くにびきメッセ等イベント会場を使った、IT 業界全体のビジネスマッチングイベント等があるようであれば、出展したいなと思います。一口に IT 業界と言っても得意分野は各社さまざまあるはずなので、それらが PR できれば嬉しいです。すでにそういうものがあるようであれば紹介いただければ幸いです。

M社(県外)

・WEBライター講座

・WEBデザイナー講座

など、弊社で需要があり、かつリモートで仕事ができるような資格・技術取得の応援金や補助金等があれば活用させて頂きたいと思っております。

3. 調査結果集計表

3-1) 売上高・経常利益・IT 従事者数

区分	H30 年度調査								
	H30 年度調査 売上高 (百万円)	H30 年度調査 経常利益 (百万円)	IT 従事者数 (H30 年 4 月 1 日時点)						合計(名)
			県内従事者数			県外従事者数			
			正社員・ 役員	非正規 雇用	派遣受 入れ	正社員・ 役員	非正規 雇用	派遣受 入れ	
全回答社	23,346	1,320	1,312	92	51	659	6	20	2,140
ソフト系 IT 社	23,346	1,320	1,300	92	51	659	6	20	2,128

区分	R1 年度調査								
	R1 年度調査 売上高 (百万円)	R1 年度調査 経常利益 (百万円)	IT 従事者数 (H31 年 4 月 1 日時点)						合計(名)
			県内従事者数			県外従事者数			
			正社員・ 役員	非正規 雇用	派遣受 入れ	正社員・ 役員	非正規 雇用	派遣受 入れ	
全回答社	33,851	1,705	1,392	88	58	675	7	17	2,237
ソフト系 IT 社	24,739	1,393	1,379	88	58	675	7	17	2,224

区分	R2 年度調査								
	R2 年度調査 売上高 (百万円)	R2 年度調査 経常利益 (百万円)	IT 従事者数 (R2 年 4 月 1 日時点)						合計(名)
			県内従事者数			県外従事者数			
			正社員・ 役員	非正規 雇用	派遣受 入れ	正社員・ 役員	非正規 雇用	派遣受 入れ	
全回答社	38,646	2,212	1,559	102	68	710	8	41	2,488
ソフト系 IT 社	28,908	1,657	1,438	102	68	710	8	41	2,367

有効回答社数(令和 2 年 7 月)

- ・アンケート回答社数 81 社(うちソフト系 IT 企業 79 社)
- ・売上高有効回答社数 62 社(うちソフト系 IT 企業 61 社)
- ・経常利益有効回答社数 55 社(うちソフト系 IT 企業 54 社)

3-2) Ruby 関連調査項目

① Ruby エンジニア数 ② Ruby アソシエーション認定技術者数 (全回答社)

H30 年度調査				
人数(H30年4月1日時点)				
Ruby エンジニア数	Ruby アソシエーション認定技術者数			
	Ruby Silver	Ruby Gold	合計	
合計	394 名	213	75	288 名

R1 年度調査				
人数(H31年4月1日時点)				
Ruby エンジニア数	Ruby アソシエーション認定技術者数			
	Ruby Silver	Ruby Gold	合計	
合計	448 名	234	74	308 名

R2 年度調査				
人数(R2年4月1日時点)				
Ruby エンジニア数	Ruby アソシエーション認定技術者数			
	Ruby Silver	Ruby Gold	合計	
合計	426 名	221	72	293 名

③ システム開発件数(ソフト系 IT 企業)と Ruby を使用したシステム開発件数(内数) Ruby 開発売上額(受注金額 50 万円以上の件数 ソフト系 IT 企業)

H30 年度調査			
開発完了時点(H29年4月1日~H30年3月31日時点)			
受注金額 50 万円以上のシステム開発件数			
システム開発件数 (県外件数)	Ruby 開発件数:内数 (県外件数)	Ruby 開発売上額(県外分)	
合計	1,537 件(122 件)	425 件(25 件)	1,629 百万円(383 百万円)

R1 年度調査			
開発完了時点(H30年4月1日~H31年3月31日時点)			
受注金額 50 万円以上のシステム開発件数			
システム開発件数 (県外件数)	Ruby 開発件数:内数 (県外件数)	Ruby 開発売上額(県外分)	
合計	1,301 件(129 件)	325 件(31 件)	1,650 百万円(461 百万円)

R2 年度調査			
開発完了時点(H31年4月1日~R2年3月31日時点)			
受注金額 50 万円以上のシステム開発件数			
システム開発件数 (県外件数)	Ruby 開発件数:内数 (県外件数)	Ruby 開発売上額(県外分)	
合計	1,501 件(189 件)	303 件(37 件)	1,533 百万円(385 百万円)

4. 回答企業一覧と参加団体

No.	本社所在地	企業名	情産協	ビジネス研究会	その他
1	松江	(株)アイ・コミュニケーション	○	○	
2	東京	(株)アイティープロデュース出雲支店	○		
3	松江	(株)アイテック	○	○	
4	出雲	(有)アイナス		○	
5	松江	(株)アキュートシスコム	○	○	
6	松江	(株)アバンセ	○		
7	東京	(株)アレックス			○
8	松江	(株)イーストバック		○	
9	東京	(株)イード	○		
10	東京	(株)e-Front	○		
11	出雲	いずもトータルネット(株)		○	
12	東京	(株)インターネットイニシアティブ	○		
13	東京	エクスウェア(株)	○		
14	出雲	(株)エステック	○	○	
15	松江	(株)エバーコム		○	
16	東京	エフ・エスソフトウェア開発(株)	○		
17	松江	(株)MC セキュリティ			○
18	松江	(株)オネスト	○	○	
19	東京	(株)オブティマ	○		
20	東京	ガリレオスコープ(株)	○		
21	東京	(株)コプロシステム			○
22	東京	(株)コミクリ	○		
23	浜田	(株)コンピュータ・コンサルタント	○	○	
24	東京	サイバートラスト(株)	○		
25	愛知	(株)CMC Solutions	○		
26	出雲	(株)シーエスエー	○	○	
27	松江	(株)ジェットシステム	○	○	
28	松江	(株)システムデザイン・アクティ	○	○	
29	松江	(株)システムリンク		○	
30	松江	(株)システム工房エム	○	○	
31	益田	(株)システムズアイ	○		

No.	本社所在地	企業名	情産協	ビジネス研究会	その他
32	出雲	(株)島根情報処理センター	○	○	
33	松江	島根電工(株)	○		
34	大阪	三徳コーポレーション(株)			○
35	松江	セコム山陰(株)	○		
36	東京	(株)セントラル情報センター	○		
37	松江	(株)SOLA		○	
38	益田	(株)ソコロシステムズ		○	
39	松江	(株)ダイヤコンピュータサービス	○	○	
40	松江	ティーエスケイ情報システム(株)	○		
41	東京	ディーアイエスソリューション(株)			○
42	松江	(株)ティーエム 21	○	○	
43	松江	(株)テクノプロジェクト	○	○	
44	東京	テラテクノロジー(株)	○		
45	松江	日海通信工業(株)	○		
46	愛知	日本システム開発(株)	○		
47	出雲	(株)日本ハイソフト	○	○	
48	東京	(株)日本ワイドコミュニケーションズ			○
49	松江	(株)ネットワーク応用通信研究所	○	○	
50	出雲	(株)バイタルリード	○		
51	浜田	パストラルコンピューターシステム(株)	○		
52	浜田	(株)浜田コンピュータシステム	○	○	
53	広島	(株)日立インフォメーションエンジニアリング	○	○	
54	松江	ピーシーエッグ(株)		○	
55	松江	(株)ビジネスインフォーメーションガーヴァン		○	
56	東京	(株)ヒューマンシステム	○		
57	松江	(有)ヒューマンネット	○	○	
58	松江	ファーエンドテクノロジー(株)		○	
59	東京	(株)フェンリル	○		
60	出雲	(株)フレックス・ポイント・システムズ		○	
61	出雲	(株)プロビズモ	○	○	
62	益田	(株)マイメディア	○	○	
63	益田	(株)マスダシステム開発		○	
64	松江	(株)マツケイ	○	○	
65	松江	(株)松江情報センター	○	○	

No.	本社所在地	企業名	情産協	ビジネス研究会	その他
66	松江	(株)ミック	○		
67	東京	(株)モンスター・ラボ 島根開発拠点	○		
68	松江	(株)八雲ソフトウェア	○		
69	松江	(有)ヨネザワ写真館			○
70	松江	(株)ルーツ		○	
71	松江	和幸情報システム(株)	○	○	
72	松江	(株)ペンタスネット	○	○	
73	東京	(株)アイル	○		
74	東京	(株)ケー・エス・イー 島根開発センター	○		
75	東京	(株)パソナテック 島根 Lab	○		
76	出雲	(株)イーグリッド	○	○	
77	松江	NaClメディカル			○
78	松江	(株)TSKネクスト※	○		
79	東京	(株)エイム・ソフト※	○		
80	松江	(株)イプシロンソフトウェア※	○		
81	東京	トレンダーズ(株)※			○
		小計	59 社	39 社 (内情産協会員 26 社)	9 社
		合計	81 社		

※新規回答企業4社